

作文コンクール “Leading to the Future 未来に向かって～教育・夢・感動～”

2021 年 最優秀賞作品「子どもも教師も」

大阪府立八尾高等学校 2 年 越智 凜奈さん

あなたは、教育という言葉聞いた時、どんなイメージが浮かびますか。多くの人が教師が子どもに勉強を教えるというイメージをすくすくと思います。私もそのように考える人の中の一人でした。しかし、よく考えてみると、教育では子どものことばかり考えられ、あまり教師のことが考えられていません。そこで私は、未来の教育は教師が働きやすい環境作りが大切になると 생각합니다。最近のニュースを見ていると教師から生徒へのセクハラ・暴力、長時間労働、サービス残業などの問題が多く取り上げられるようになっていて私は感じます。世間では教師が悪いという声が多くある中で、この問題の原因は教師が働く環境が整っていないというところにあるのではないかと考えます。授業、部活動、いじめ・家庭環境の問題などすべきことが多くあり、長時間労働やサービス残業をしなければいけない状態になります。その結果、教師のストレスが溜まり、いろいろな問題の発生に繋がるのではないかと思います。

この問題を解決するには、もっといろいろな人の協力が必要であると思います。例えば、部活動の練習にOBかOGが参加してもらうことが良いと考えられます。このようにすることによって、子どもたちのスポーツ能力が上がり、OBやOGの運動不足も解消したり、生活習慣病の予防ができるのではないかと思います。また、教育実習生が補助教員として授業か部活動などに参加することで、教師と教育実習生の両方にメリットが生まれます。教育実習生のメリットは、実際の学校の現場での経験を積むことができ、その経験が、自分の自信や即戦力などになります。よって、学校で実際に積んだ経験を生かすことで、何事にも臨機応変に対応できる先生が多く生まれ、教育の質も上がるのではないかと私は考えます。そのうえ、学校の今の状況がどのようになっているのか、どんな授業の仕方なのかということをもっと発信していくことで、助けたい、手伝いたいと思ってくれる人が増え、人手不足も解消すると思います。

私は、未来の教育は「子どもも教師も誰もが過ごしやすい場所や環境作り」が大切になっていき、これからの日本の教育を左右していくと思います。